

議会だより



明るく住みよい地域社会づくりを（松島町分館長の皆さん）

- ◇ 町長の施政方針と予算…………… 2P
- ◇ 9人の議員が熱弁(一般質問) …… 4P
- ◇ 新年度予算を問う(総括質疑) …… 14P
- ◇ 予算はどう使われるのか…………… 16P
- ◇ 町民の声…………… 34P

平成28年
第1回 定例会

[3月2日～3月17日]

平成
28年度

長期総合計画スタート 復興・創生期間へ

予算総額 **170億3,600万円**

櫻井町長 初の当初予算提案

施政方針

長期総合計画の
「集い、学び、働き、
笑顔あふれる美しいまち 松島」
という将来像の実現を目指して、

1. 「定住の促進」
2. 「子育て支援」
3. 「観光客と住民等の交流の促進」

を重点的に推進する。

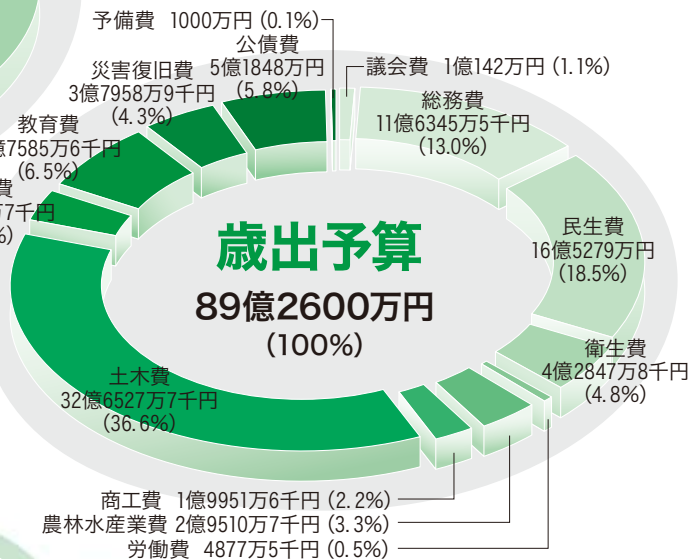
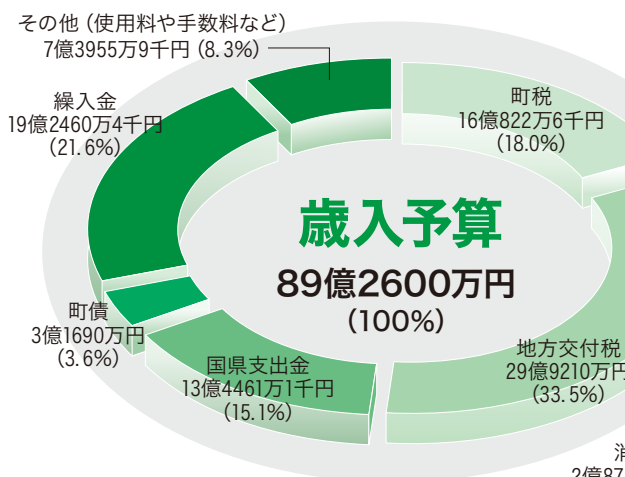
平成28年第1回定例会が、3月2日から17日まで16日間の会期で開催されました。2日には、櫻井町長から新年度における施政方針が表明されました。新年度予算については、予算審査特別委員会を設置し、分科会方式で慎重に審査され、平成28年度松島町一般会計予算他すべ

ての当初予算を原案のとおり可決しました。また、条例の制定、一部改正、工事請負契約の締結、平成27年度の各種会計補正予算など議員提案1件を含む39議案を原案のとおり可決しました。一般質問は、9人の議員が各々の視点から町政について質問しました。



施政方針を表明する櫻井町長

平成28年度 一般会計89億2,600万円



※構成比の数値は、四捨五入しているため、計の数値と合わない場合があります。

町民一人あたりの支出予算額

**60万
1,640円**

平成28年3月末
人口1万4836人
による試算

予備費
674円

公債費
3万4947円

災害復旧費
2万5585円

教育費
3万8814円

消防費
1万9362円

民生費
11万1404円

労働費
3287円

土木費
22万91円

商工費
1万3448円

議会費
6836円

総務費
7万8421円

衛生費
2万8880円

農林水産業費
1万9891円

平成28年度の各種会計予算

会計名	平成28年度	平成27年度	前年度当初比	
一般会計	89億2600万円	128億6600万円	△30.6%	
特別会計	国民健康保険	20億7745万1千円	21億8294万6千円	△4.8%
	後期高齢者医療	2億901万6千円	2億808万1千円	0.5%
	介護保険	15億5118万円	14億8765万円	4.3%
	介護サービス事業	677万9千円	571万8千円	18.6%
	観瀾亭等	7168万1千円	6679万2千円	7.3%
	松島区外区有財産	172万3千円	158万6千円	8.6%
	下水道事業	33億5489万1千円	44億3274万6千円	△24.3%
水道事業会計	8億3728万2千円	7億506万3千円	18.8%	
合計	170億3600万3千円	219億5658万2千円	△22.4%	

町政Q&A

一般質問

ここが聞きたい!

9人の議員が 16件について質問

色川晴夫 議員 (5ページ)

- ◆ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の合宿誘致を検討する考えはないか

櫻井 靖 議員 (6ページ)

- ◆ 施設の利用と減免の関係は
- ◆ 自治体間の職員交流をどう考えるか

後藤良郎 議員 (7ページ)

- ◆ ヘルプカードの導入を

菅野良雄 議員 (8ページ)

- ◆ PPP/PFIで目標人口の達成を
- ◆ 防犯灯の修繕に1年以上、理由を伺う

小幡公雄 議員 (9ページ)

- ◆ 町営バスのあり方を見直すべきと考えるが、判断は

高橋幸彦 議員 (10ページ)

- ◆ 少子高齢化対策としての定住促進を
- ◆ 町営バスのデマンド化と松島駅・松島海岸駅のバリアフリー化は

今野 章 議員 (11ページ)

- ◆ 消費増税中止を国に求めよ
- ◆ リフォーム助成制度の創設を
- ◆ 交流館大ホールの空調改善を

赤間幸夫 議員 (12ページ)

- ◆ まち・ひと・しごと創生総合戦略に懸ける町の取り組み姿勢は
- ◆ 行政サービス展開、あれこれ……町民の声に対する処理対応は

高橋利典 議員 (13ページ)

- ◆ 学校教育の充実を伺う
- ◆ 独自性を出せる教育環境の整備を



色川晴夫 議員

一般質問

問 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の合宿誘致を検討する考えはないか

答 2市3町首長会議で話す

問 今年はオリンピックイヤーである。この夏、ブラジルでリオオリンピック大会が開催される。次回2020年は、いよいよ第32回東京オリンピック大会が開催される。今から52年前の1964年第18回東京オリンピック大会が開催され、日本中を熱狂の渦に巻き込んだオリンピックが4年後、再び見ることが出来る。2020年はまさにオリンピック一色となる。世界一のスポーツの祭典である東京オリンピックに何らかの形で参加出来ないものか、町民一体となってサポート、応援していくことが子供達の夢と希望、そして成長に継つていくと私は確信するものである。今、グローバル時代への対応と言はれ、国際交流の重要性を体験する絶好の機会であ

る。そこで、オリンピック大会直前の事前合宿誘致が全国の自治体で活発化しており、県内でも蔵王町がパラオ共和国のホストシティ、石巻市は7人制ラグビーなど7自治体で誘致を表明。各自治体職員は、松島ほどの風光明媚な町で、宿泊施設の整っている町はないと言っている。誘致に關して、困難な点は多々あると思うが、松島の活性化と将来を担う若者のためにも、ぜひ前向きに誘致を検討すべきである。

町長 青森県庁から東京都まで被災地沿岸を「たすき」でつなぐ未来への道1000km横断リレーを、聖火リレーコースとして採用するよう申し入れている。採用されれば大きな感動を肌で感じるものと期待している。キャンプ地の誘致は、相手国との交渉の中で、環境整備などの負担や大会後の利活用について十分に精査し、具体的な検討を行いたい。

問 費用負担など考慮し松島単独でなく広域で誘致活動すべきである。櫻井町長がリーダーシップをとり、他首長に進言してほしい。

町長 オリンピック・パラリンピックの施設について、松島町や他町の施設はそれに足りる施設なのかである。この期間中はインバウンドを含め訪れる方の受け入れなど、さまざま検討しなければならぬ。また、2市3町広域の会合もあり、松島でこのような話が出たことを話す。

問 大地震で大きな被害を受け、世界中から支援があった。復興している姿と感謝を。これが国際親善とインバウンドに継がる。

教育課長 近隣市町村の担当者会議もあるので、意見交換し町長に報告していく。



1964年第18回東京オリンピック入場行進 (日本オリンピック協会HPより)

問 駅のバリアフリー化と観光施設のバリアフリー化を2020年まで完成すべきであるがどうか。

で整備したいが、3分の2の負担は重く困難であることから、2019年度完成目指し進めていく。

町長 45号の歩道は2018年度まで完了させた。また、段差の解消を計り観光客にやさしい町を目指していく。また、JRの駅のバリアフリー化は、2年後の6月に瑞巖寺の落慶法要があるの

問 施設の利用と減免の関係は

答 どの団体であれ、統一した考えで使用料を払っていただき、いい状態で貸し出しする

町長 条例を重く受けとめていただき、どの団体であれ入場料を取ったものについては、統一していかないと、何のためにつくったということになる。使用料を支払っていただくことよって、いい状態で貸し出しができるので理解してほしい。

問 松島町文化観光交流館の使用料について「入場料等を徴収する場合の減免は行わない」とあるが、ある程度、事情があれば考慮するということができないのか。



さくら い やすし 櫻 井 靖 議員

一般質問

問 文化観光交流館の暖房について、昨年までは、何も言わなくても事前に暖めてくれていたが、現在は、事前に言っておかないと部屋が暖まらずたいへん寒いおもいをしてる。そして事前に暖めている分の暖房代も請求される。ぜひ町が間に入り、以前のようなサービスをしてもらえないのか。

町長 これから、いろんな集会所が完成するため、維持管理費がどんどんかかっていく、町民の方々にある程度のこととは理解をしていただきたい。逆に町側にこのぐらいいは費用負担をしてほしいとアピールしていただけるとありがたい。



文化観光交流館で行われたチャリティーコンサート

問 職員が人脈づくりや先進的な政策について学ぶため、積極的な職員交流を進めていってはどうか。

町長 自治体の職員交流は、職員の行政視野を広げ、仕事への意欲、高揚が図られ、より高度な行政運営に資することができると考えているが、平成28年、29年は当町の事業のピークなので、職員の派遣及び受け入れについては、平成30年度以降の実施に向け検討していきたい。

問 震災復興の支援をしていたら、今後どの自治体との関係は、今後どのように考えていくのか。ぜひ絆を大切にしたい。また、自治体同士、町民同士の交流のため、倉敷市や中山町に行くバスツアーとかいう企画をしてはどうか。

副町長 今、8つの市や町の間で11のイベントなどで交流を重ねている。今後についても、今まで以上に促進を図っていきたく考えている。また、バスや電車での町民の交流なども考えられるので、今の意見を参考にしながら取り組んでいきたい。



松島町職員の仕事風景

問 自治体間の職員交流をどう考えるか
答 平成30年度以降の実施に向け検討していきたい



ごとうよしろう 議員
後藤 良郎

一般質問

問 ヘルプカードの導入を

答 4月から「SOSサポートカード」の名称で取り組む

問 平成27年度、現時点における町内の障害別実数はどうなっているのか。

町民福祉課長 身体障害者手帳所持者は663名、精神福祉手帳所持者が64名、知的障害の療育手帳所持者が100名、難病患者が155名。身体障害者手帳所持者のうちの聴覚障害が32名、心臓機能や腎臓機能障害といった内部障害のある方は242名である。

問 仙台市では、東日本大震災の発生時に、障害者が避難先で住民と違うように意思疎通が図られないケースがあり、そのときの大変さ、教訓等を生かすために緊急時の必要な支援や連絡を記入した名刺大のヘルプカードを作成している。仙台市

以外でも石巻市や塩釜市、蔵王町などでも導入しているが認識しているか。

町長 ヘルプカードは、話す、聞く、書く、読むなどが難しい方々、また災害時だけではなく日常生活の中でも周囲の配慮や手助けが必要な時のツールと理解している。

問 ヘルプカードは、障害のある人が緊急時や災害時、または普段の生活の中で大変困ったとき、あるいはこのカードを周りの方にとつて必要である支援並びに備品等において配備を求めやすくするためのものである。特に、耳の聞こえない聴覚障害者の方及び、外面ではよくわからない内臓障害者あるいは知的障害者の方が、周囲に

様々な面で支援を求める際に大変に有効である。本町でもさまざまな障害を抱えている方が安心して暮らせるように、ヘルプカードを導入すべきであるがどうか。

町民福祉課長 東日本大震災以降、町ではN T Tで発行している電話お願い手帳等を窓口においている。耳や言葉が不自由な方のために、色々書くところがあるが、手帳なのでポケットに入れて持ち歩くことになるため使いづらい。

そこで、ヘルプカードではなく、「SOSサポートカード」という名称で、名刺よりも小さい形で4月から実施し、普及を図っていききたい。



SOSサポートカード見本

問 PPP/PFIで目標人口の達成を

答 長期総合計画の中で考えていく



菅野良雄 議員

一般質問

問 長期総合計画で地域優良賃貸住宅建設の検討と示しているが、真剣に取り組む考えがあるのか。

町長 平成28年度で公営住宅長寿命化計画の策定に合わせて、その内容、事業等を検討していく。

問 昨年、第2常任委員会で視察したみやき町で実施していたのが、地域優良賃貸住宅制度だった。PFI事業として選定し、民間活力の導入と、国の交付金及び入居者家賃の収入により実施していたが、本町もPPP/PFI事業として取り組めば地域優良賃貸住宅建設は可能だと思いが。

町長 本町でも取り組むことは可能であると思っている。担当者には長期総合計画の中で考えるよう強く打診している。

問 長期総合計画、土地利用の主要施策・目標として駅周辺住宅供給方策の検討と示されているが、検討と示すだけでなく実現してほしい。

町長 土地利用における定住促進に資する住宅地等の整備は重要な施策であり、次期長期総合計画、国土利用計画（第四次）においても位置づけしたところである。

企画調整課長 今後さまざまな手法、可能性を模索しながら、県と協議



PF事業による町営住宅「ティアラみね」
(佐賀県みやき町)

を重ね、国土利用計画、あるいは総合戦略に位置づけている地域の開発を現実に近づけたい。

問 内閣府の民間資金等推進室では、専門的知識、ノウハウ、経験を持つ専門家を派遣する等支援しているが、町としても支援を受けてもいいと思うが。

企画調整課長 積極的に、適切な時期に活用していきたい。

知識 PPP/PFIとは？
民間が事業主体としてその資金やノウハウを活用して、公共事業を行う方式。

問 防犯灯の修繕に一年以上、理由を伺う

答 管理者の確認に時間を要した

問 防犯灯を修理するよう依頼したが一年以上放置された。なぜ修理に時間を要したのか。

危機管理監 管理者確認に時間を要していた。現地を確認し、町管理であるということが分かり、直ちにLED照明に交換したものである。

問 区長が、交代したときに、防犯灯の管理について説明しているのか。

危機管理監 していない。今後、地区と町で正確な管理をしていく。

問 LEDに交換する事業を進めているが、していない防犯灯がところどころに残っている。交換する考えはないのか。

危機管理監 残っている部分は地区と協議、相談しながら、年次計画でもって整備しなければならぬと考えている。



壊れた防犯灯



議員 小幡 公雄

一般質問

問 町営バスのあり方を見直すべきと考えるが、判断は

答 検討組織を設置、協議していく

勿体ない、もったいない。空バス走行

問 アンケートで町営バスの運転手さん達から、無駄な便・路線について意見を聞いた。

財政難が指摘されている折、見直すべきと考えるがどう思うか。

危機管理監

町営バスは交通空白地域において、住民が通学、通勤、外出する際の移動手段を確保する目的で運行している。路線の便を減らすことは、利用者に不利益を与えることになるので、慎重な検討が今後必要になると思われる。

平成26年度70歳以上の利用者延べ前年比2400人増となっており、その点も考慮しなければならぬ。

アンケート結果を全て

実施することは、難しい現状である。

来年度、関係課による検討組織を設置、見直し協議を予定している。

これはビックリポンヤ!

問 アンケートの結果知ったことだが、バス運行条例に規定されていない路線がある。また、同条例には、走行キロ数まで示されている。

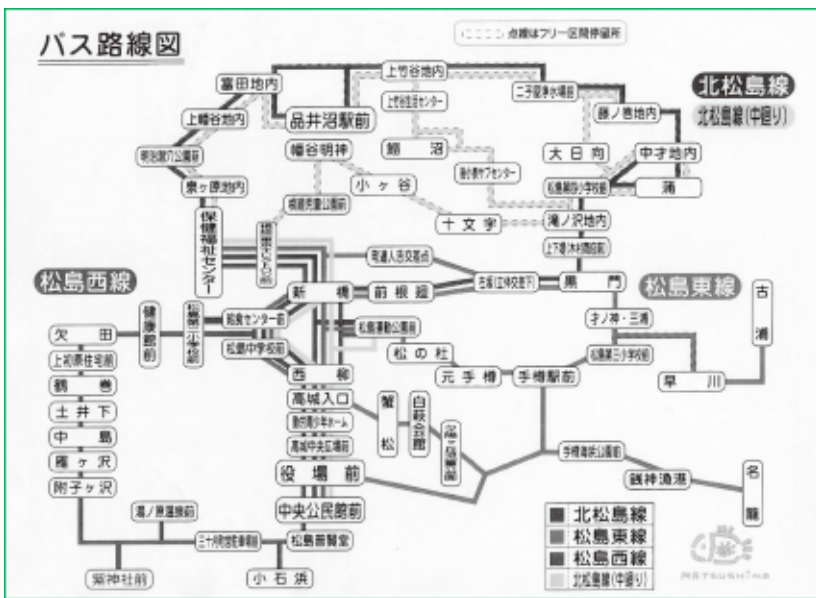
条例を見ずして、どんな仕事をしようとしているのか。

町長

条例の関係は、調べるが、キロ数の延びは、平成9年から結構年数がたち、議会からこの路線を増やして欲しい区長会等から要望があったものと推測する。

既に、担当課長には28年度に入ったらすぐ協議しようとして打ち合わせていた。

当然、町の負担は右肩上がりが増えていく状況にあることは把握している。



松島町営バス運行条例

第2条 町内における公共交通の整備を図り、福祉の増進及び生活環境の向上に資するため町営バスを運行する。

2 町営バスの運行区間は、次の通りとする。

路線名	起・終点	運行距離
北松島線	松島中央公民館	27km
松島西線	松島中央公民館	14km
松島東線	松島中央公民館	24km

路線別走行距離の現実【独自調査】

- ▼1号車 (193 km)
 - ・松島西線1便……18 km
 - ・松島西線2便……26 km
 - ・松島西線3便……43 km
 - ・松島西線4便……43 km
 - ・松島西線5便……26 km
 - ・松島東線4便……37 km
- ▼2号車 (201 km)
 - ・北松島線1便……28 km
 - ・北松島線2便……32 km
 - ・北松島線3便……38 km
 - ・北松島線4便……35 km
 - ・北松島線5便……35 km
 - ・北松島線6便……33 km
- ▼3号車 (89 km)
 - ・北中廻線1便……33 km
 - ・北中廻線2便……5 km
 - ・デイサービス
- ・松島西線3便……25 km
- ・松島西線4便……26 km
- ▼4号車 (87 km)
 - ・松島東線1便……24 km
 - ・デイサービス
 - ・松島東線2便……30 km
 - ・松島東線3便……33 km
 - ・デイサービス

問 少子高齢化対策としての定住促進を

答 観光地ということを生かして取り組む

町長 企業誘致については、県と連携して進めており、東北放射光施設誘致もこれまでどおり進めていく。観光については、観光業の他に8つの関係機関とネットワークを組み、魅力ある観光まちづくりを目指していく。

問 全国の市町村でも少子高齢化が最大の課題である。その有効的な対策は経済問題であると考えているが、わが町は文化財保護法等の制約があり、企業誘致等の成果があがっていない。日本三景の松島として、観光を前面に押し出して人口減少に立ち向かうべきではないか。



たか はし ゆき ひこ
高橋 幸彦 議員

一般質問

問 外国人観光客を含めて、より一層の観光客を増加させる施策はないのか。

町長 平成の大改修が終了する瑞巖寺の落慶法要が平成30年6月に予定されている。いろいろなグループが、2年後にむけて活動しており、外国人観光客も含めて観光客の増加に向けて、そのグループと歩調を合わせて考えていく。



平成の大改修を終えた瑞巖寺本堂

問 町営バスをデマンド化する考えはないのか。

町長 町営バスのデマンド化については、民間委託等も含めていろいろ検討しており、他町村の事例等も参考にして考えていきたい。

問 町営バスのデマンド化と松島駅・松島海岸駅のバリアフリー化は

答 デマンド化は、調査検討していく
バリアフリー化は、関係機関と協議していく

問 昨年の議会報告会の中でも出された、松島駅・松島海岸駅のバリアフリー化はどうなっているのか。

震災復興対策監 現在、松島駅を優先的に進めている。JR、また国・県と協議を行っており、平

成31年度を目標にエレベーターの設置を目指している。
松島海岸駅について、JRも重要性を新たに認識し、今年度に再調査するための予算を確保して検討していくとの連絡を受けている。



バリアフリー化が待たれる松島駅



あらい 議員 今野 章

一般質問

問 消費増税中止を国に求めよ

答 国の施策に注意深く対応する

問 来年4月から消費税が10%に引き上げられ、1世帯当たり年間負担増は6万2000円、1人当たり2万7000円になるといふ。実質収入が伸びない中で、節約の暮らしにならざるを得ない。中小工商业者の経営にも混乱をもたらす。消費税の増税が実施された場合、町は町民生活に対する影響をどう見ておられるか、貧困等の実態を含め伺う。

町長 消費税増税は国の施策であり必要な支援の強化や見直しがされるものと思う。現時点で対応は特に検討していないが、町民生活に大きく影響するため注意深く対応していきたい。

町民福祉課長 町内の貧困世帯や非正規労働の実

態は把握をしていないが、国の貧困率は16%でアメリカに次ぐ高さである。非正規労働は仙台市を除く県平均が38%で、本町も比例するものと考えられる。高齢基礎年金受給者が4901人、障害基礎年金受給者が232人、遺族基礎年金受給者は38人。生活保護世帯は162世帯である。

問 町民生活への影響は見逃せないということだが、国の支援、いわゆる救済措置は縮小の方向であり、町民の暮らしや地域経済、行政運営にも何らかしい影響を及ぼすものではない。消費税の増税中止を国に求めるべきと思うがどうか。

問 リフォーム助成制度の創設を 答 復興の目途がついたとき検討

問 震災の影響や景気低迷などで地域経済は必ずしも好転していない。景気回復には、最も大きな消費の主体である庶民の懐を温める事や中小

町長 自治体の首長が消費税反対と言っても難しいと思うが、社会保障のための金はどう流れるのかを把握できるシステムにはして頂きたい。増税は国策であり、実施された中で進めていくのが我々の役目と考える。

商工業者の仕事を増やすことが重要である。地域経済の活性化に向けて、住宅リフォーム助成制度の創設を求めると共に、今後の町の取り組み



A&COOP 松島店

みや考えを伺う。

副町長 今、政府でデフレ脱却の施策を進めているが、庶民の景気回復までには至っていないと思う。本町では、懐を温める施策としてプレミアム

問 交流館大ホールの空調改善を 答 吐き出し口の微調整で対応

問 文化観光交流館の大ホールの暖房は、客席の上段に行くほど暑く、下段と上段ではかなりの温度差がある。今後の改善予定を伺う。

教育課長 暖房時、上下で8度ほどの温度差があり、空気の吐き出し口の角度調整を行って対応してきたが、さらに微調整し改善したい。

商品券を28年度も実施する。住宅リフォーム制度は、全国で取り組まれているが、復興にある程度の目途が付いた段階でまた検討したい。



文化観光交流館 大ホール

問 まち・ひと・しごと創生総合戦略に懸ける町の取組み姿勢は

答 各種団体が一体となり、地域内・地域間・世代間の交流促進に努める



あか ま ゆき お 赤間 幸夫 議員

一般質問

協働が要

問 町の活力は、何に求め、何で進めて行くのか。

町長 自然資源を生かした観光業をはじめ、各産業の事業主、住民、民間、行政といった各種団体が一体となり、地域コミュニティの保全や人材育成、地域内・地域間・世代間の交流促進に努め、協働によるまちづくりを実現させたい。

問 計画推進の確実な進捗確認は、どのように行われるのか。

副町長 創生総合戦略に掲げる施策は、長期総合計画とほぼ同一であり、進捗状況や実現の度合は、町が設置する総合計画審議会に報告し、その内容を広報やホームページ

ジ等を通じて公表していきたい。

人材育成が鍵

問 戦略の推進には、庁内組織体制と職員の事務処理能力の向上は必要不可欠であり、どのように考えるのか。

副町長 町としては、できる限り多くの研修、経験等が積める職場環境の充実に努めていきたい。



松島町まち・ひと・しごと創生総合戦略

問 行政サービス展開、あれこれ町民の声に対する処理対応は

答 内容により現場対応を行い、関係機関等へ内容の伝達を行う

町の積極的干渉を求む

問 開発事業等（三陸自動車道4車線化事業に伴う水害軽減含み）に係る水害対策の取組みは。

産業観光課長 地域住民からの意見や苦情が出された場合、町はまず現場を確認し、許可権者である県にその都度報告を行い、是正が必要な場合は、県の指示により開発業者が改善している。



初原地区 土取状況

建設課長 三陸自動車道4車線化の完成から2年、下流部に被害が生じている箇所は、宮城県道路公社に引き続き要望を行い改善に努めていきたい。

問 高城区、「佐藤新聞店前の変則三叉路部分の交通安全対策（停止線や横断歩道等の白線引き）は、どうしてこんなにも時間がかかるのか。

危機管理監 町が補修、設置すると法的効力はなく、事故等が発生した場合に保障に影響が出るので、警察からの指導を待つ状況になる。なお、次年度中に設置するという旨の回答は得ている。



たか はし とし のり
高橋利典 議員

一般質問

問 学校教育の充実を伺う

答 さらに充実した形で進める

問 教育力の向上を目的として、にかほ市の教育委員会と交流事業を実施し、学力向上に取り組んでいるが成果や効果について伺う。

教育課参事 すべての小中学校で学び支援を実施し、サマースクールや昼休み、放課後の学びの場を設け、その実績は県内でも高い評価を受けている。

問 今後、どのような課題が生じるのか伺う。

教育長 教育集団が一丸となつて初めて効果が出るわけで、まだまだ統一的な取り組みが弱かった。指導力向上プログラムを考へて取り組む準備をしている。

問 幼保小中高連携による志教育の実践を伺う。

教育長 「人とかがわかる・よりよい生き方を求める・社会での役割を果たす」この要素を教育活動の中で生かし、小中高の発表会は4年連続で続けており、狙いに沿った形で効果も出ている。

問 独自性を出せる教育環境の整備を

答 総合教育会議の中で慎重に話し合いをしていく

問 平成28年度から小中一貫教育を実施する「義務教育学校」が創設され、市区町村教育委員会などの判断で既存の小中学校などを義務教育学校にできるようになった。町での可能性は。

教育長 町の場合にはいづれ3つの小学校をどうするか、中学校を含め重要な問題があるが小中一貫になびくのは慎重な考えである。

問 教育力向上のためにPTAへのニーズ調査も必要では。

教育長 先を見越した小中学校のあり方について、総合教育会議が非常に重要になってくると考えている。



松島町小中学校学習発表交流会

総括 質疑

新年度予算を問う



審査風景

今後の行政運営は

色川 晴夫 議員

問 施政方針の中に、平成28年から3年間で行政評価制度の構築というが、どのような行政評価、事業評価するのか。

町長 地域や住民のニーズに合った効果的、効率的な行政サービスを展開し、継続的に施策を構築する事務事業の見直しを行う。さらに、職員の意識改革を図り、業務の改善、改革に取り組んでいく。

総括質疑

問 平成28年予算案は、前年比30・6%減の89億2600万円で町税収入は、景気回復で5000万円増であるが、今後の地方交付税はどう見るのか。

財務課長 東日本大震災以降は、ほぼ18億円台であったが、地方財政計画では前年同額を確保するとしたが若干減っている。今後は、社会保障費などが伸びることなどで当面18億円代は確保されると思う。

問 避難施設など公共施設の維持管理費が今後、財政的に負担となる。28年度予算に占める維持管理費は。

財務課長 庁舎、どんぐり、避難施設など22施設で、予算の4%にあたる3億5700万円である。今後、石田沢、ポンプ場など含め1億円以上増となる。復興事業費を除く通常ベースでは約6・1%となる。

問 ふるさと納税返礼品のその後の進捗状況は。

財務課長 昨年11月、企画・財政・産業観光の3課の職員で協議したが、返礼品、地場産品など困難な面がある。先進自治体など視察し、企業向けのPRなど方向性を出す。

問 JR松島海岸駅と松島駅のバリアフリー化は。

町長 JR側と協議している。国・県・町が経費の3分の1ずつ負担するとしているが、これを度外視すると町が3分の2の負担となる。そうならないよう協議していく。

問 旧水族館の跡地利用について、県の対応はどうなのか。

企画調整課長 跡地の基礎調査を27年度中に完了し、28年度で用地測量と検討委員会を行い、秋頃まで結論を出す考えである。

産業振興・雇用創出は

菅野 良雄 議員

問 財政状況は引き続き厳しいと言っているが、長期総合計画を進める上で影響が及ぶことはないのか。

財務課長 財政調整基金にある程度余裕があったが、そういう金もなくなってきた。なおかつ税収が伸びるという見込みもないので、事業の見直しとかはしていない。大変厳しい状況にある。

問 幼稚園の園長に職員

を選任するということになるが、どう変わるのか。

教育長 幼稚園内で子供が事故に遭った場合に、そこに兼務である園長、つまり兼小中学校校長がその場にいなかったということになると、大変ゆゆしい問題になる。管理の完璧性を期待し、職員から選任することにしたものである。

問 産業振興や雇用創出を積極的に推進すると述べているが、具体的に説明したい。

町長 1つは放射光を考えている。オリンピックの関係で、少し先延ばし



ご入園おめでとう (第一幼稚園)

になっているが、町とすれば、長期的なものの中で考えていく。また、宮城県の企業立地セミナーに参加するなど、企業誘致をはかり雇用創出を図りたい。

問 新地方公会計整備事業の予算が計上されたが、大変なのは固定資産台帳の整備だと言われている。これは委託するのか。

町長 委託となる。これは、議員の言うとおり、かなりの作業で、財務課だけでやるという代物ではないので、全庁的な体制を整えながらやっています。

問 TPPの協定書に署名したとの報道である。本町の農業経営に影響が及ぶとすればどの程度か。

町長 現在、影響額が幾らかというはつきりした数字はつかんでいない。

問 二子屋浄水場の更新事業が進められている。計画では総額20億円を超

えるが、地元企業の参入は難しいのではないかと。

町長 一括発注がいいのか、地元と大手がJ・Vを組んだほうがいいのか、それとも、分離発注したらいいか、よく協議をして進めたい。

町長の役目は

赤間 幸夫 議員

問 長期総合計画を具現化するには行政運営手腕が求められるが、町長が求められるが、町長が就任後初の予算編成に、どのような思い・考えを持ったか。

町長 財政は厳しいが、これから長期総合計画の10年間の間で、最初の1年目は何をすべきなのか、自分の中で考察を入れ、庁内会議を踏まえ予算を組んだ。平成28年度、一つ一つ事業見直しを見極め、どういうふうな舵を切っていくかというところが、私の役目だと思っている。

問 厳しい財政状況の中で、今後のまちづくりではどのような事業が必要

なのか。その必要性の見極めを、何を持って判断してきたか。

財務課長 政策的な事業に関しては、庁内各課と協議をしながら、副町長、町長のもとで決めている。

また、予算編成方針を基に、職員には今のうちから事業の見方、優先順位の見え方を含め、考える力をつける為に、予算枠内配当の指示を行い、予算執行管理を行っている。

問 松島町土地利用構想図に描かれている北部地区（初原、根廻、幡谷）への工業用途・企業誘致



東北放射光施設誘致候補地（尾鹿ノ森方向）

の考えは。

震災復興対策監 初原・幡谷地区は、東北放射光施設の誘致候補地の位置づけであり、土地を所有する会社では、とりあえずは土取り場の活用を行っている。工業用途・企業誘致を図るためには都市計画法上の諸手続きが必要であり、その準備段階に入っているもの、まだ結論までは時間が掛る。

問 主要地方道仙台台・松島線（通称・利府街道）の拡幅整備と一般県道小牛田松島線（初原バイパス）の国道45号線への接道見直しは。

町長 27年度も、県知事、県議会議員へ要望は行っており、今後も引き続き町議会議員並びに係者同行のもとに、粘り強く国・県に要望実現に向けた取組みを行っていく。

職員の待遇改善を

今野 章 議員

問 安倍首相は、最低賃金を1000円にと言っ

ている。毎年聞いているが職員、臨時職員の待遇改善についてどのように考えているか。

副町長 臨時職員は130名余りいることもあり、賃金は一般行政事務職の補助で、わずかではあるが前年比20円アップの770円にする。

問 県の滞納整理機構は、給料を丸々差し押さえるなど強引な税徴収をしている。町民の状況をよく把握し、徴税に当たることがあり、滞納整理機構への参加はやめるべきではないか。

財務課長 押さえた原資が給与であれば、給与禁止規定が働き返却の措置が取られると考える。機構の件は、担当としては町単独でできると考えるが、県との付き合いなど29年度以降に向け議論し、町長の判断を待ちたい。

問 コンビニエンスストアの収納システム運用支援業務委託事業があるが、今後どのように進め

ていくのか。

財務課長 実際に導入するのは29年度になる。28年度は、料金の問題やコンビニ等との調整、電算システムの整備等を行うことになる。導入されれば町内外の契約コンビニで利用できることになる。

問 27年度から国保税が重い。国から保険者に財政支援がされている。本町は、所得100万円以下の国保加入世帯が56%もあり、国の支援分や財政調整基金を活用して国保税の引き下げをすべきではないか。

町民福祉課長 平成30年4月から国保運営が広域化される。その場合、県より示される標準税率をもとに、各自自治体が税率を検討し決定することになる。本町は1人当たり医療費が県内4番目と高く、これらを勘案した国保運営が必要と考える。

どう使われるのか

各課に問う

平成28年度各種会計予算について、議長を除く12名による予算審査特別委員会を設置し、分科会方式で審査しました。
委員会は、各課ごとに質疑応答を行いました。



塩釜斎場移転候補地（利府町赤沼地区）

総務・環境防災

主なつかいみち

○一般管理費	2億6632万円	(-679万円)
○交通安全費	825万円	(+9万円)
○塩釜斎場負担金	2855万円	(+43万円)
○塩釜地区消防事務組合負担金	1億8281万円	(+191万円)

※（ ）内は前年度対比

●第1常任委員会が審査する課

議会事務局／会計課／総務課／選挙管理委員会／企画調整課／財務課（松島区他区有財産特別会計含）／産業観光課（観瀾亭等特別会計含）

●第2常任委員会が審査する課

町民福祉課（国民健康保険特別会計・後期高齢医療特別会計含）／健康長寿課（介護保険特別会計・介護サービス特別会計含）／建設課／教育委員会／水道事業所（下水道事業特別会計含）

職員の人事評価と職員数の適正化は

問 平成28年度から職員の評価方法が、勤務評定から人事評価に変更となる。その対応は。

総務課長 勤務評定は一方的な評定だけであるが、人事評価は職員と管理職が顔をあわせて話し合いをしながら行っていくため、能力プラス評価という側面もある。

また、わが町のラスパイレス指数が県や他市町村と比較して低いので、それを上げる意味でも導入する。

問 震災復興後の職員数に対する考え方は。

総務課長 東日本大震災から復興途上であり、現在でも他県から職員の派遣をお願いしている。当面は現在のままと考える。ただ復興事業が一段落すれば考えていかなければならない。

企 画 ・ 財 政

主なつかいみち

○企画費	5564万円	(-815万円)
○広報広聴費	779万円	(+191万円)
○復興推進費	2億8061万円	(+1億154万円)
○財産管理費	1億3069万円	(+676万円)
○賦課徴収費	5262万円	(+2307万円)

定住促進と企業誘致対策は

問 毎年指摘しているが、定住促進を進める策はないのか。

震災復興対策監 定住対策の一つである企業誘致については、宮城県産業立地推進課と連携し、金融機関との情報交換、企業立地セミナーへの参加等に取り組んでいる。また、東北放射光施設を誘致し、周辺を産業系土地利用を計画しており、根廻磯崎沿線を住居系や商業系の土地開発ができないか、県などの関係機関と調整している。

企画調整課長 町内の空き(130軒)、空き地は把握

している。持ち主ごとに意向が対応がむずかしいが、定住策の一つの施策として進めてく。

問 ふるさと納税の返礼品に

いては、早急な対策が必要だ
財務課長 財務課、企画調課、産業観光課3課の職員でし合いを行った。平成28年度には、どのような返礼品がよのか決定したい。



二知識

ふるさと納税制度とは？

自分の故郷や応援したい自治体など、居住区以外の都道府県・市区町村へ寄付することで、個人住民税の一部が控除される制度。



西行戻しの松公園

産 業 ・ 観 光

主なつかいみち

○農業振興費	1372万円	(-1019万円)
○林業振興費	4193万円	(-36万円)
○商工業振興費	6861万円	(+784万円)
○観光費	6373万円	(-2925万円)

より一層の観光・産業振興対策を

問 松島町の観光振興対策は、他の産業や町の活性化につながっていない。方策はないのか。

産業観光課長 町民の人たちが誇りをもって発信することが観光の原点であり、観光とまちづくりはセットであると考えている。松島の暮らしを伝える一環として、子ども英語ガイドや講師をよんで地元のを発掘する勉強会しており、ネットワークづくり、横の連携を図ることにより連鎖につながればと考えている。

問 昨年も指摘しているが松枯れが年々ひどくなっている。対策はどうするのか。

産業観光課長 樹幹注入が一番効果があるが、多額の費用がかかるため松島の全部の島の松に行うことはできていない。県と一緒に予算をもらえるよう林野庁にお願いをしているが、被害の最先端地域でないためなかなか受け付けてもらえない。別な方法を模索している。

健康・長寿・介護

主なつかいみち

○老人福祉費	2億9061万円	(+625万円)
○保健福祉セク-管理費	4918万円	(+373万円)
○予防費	7431万円	(+615万円)
○母子衛生費	1013万円	(-13万円)
健康館費	276万円	(57万円)



磯崎保育所

町民サービス・福祉

主なつかいみち

○戸籍住民基本台帳費	3106万円	(-611万円)
○障害者福祉費	3億1417万円	(+4608万円)
○保育所費	2億615万円	(-691万円)
○子ども医療対策費	3645万円	(+2233万円)
○児童館費	2103万円	(+191万円)
○臨時福祉給付金費	6554万円	(皆増)

予算審査

保健福祉センター老朽化の対応は

問 保健福祉センターの修繕については、施設の老朽化が進んでいることもあり、抜本的解決を図るべきではないか。

健康長寿課長 修繕計画を立て維持管理を行っているが、施設の老朽化の進行に追いつかない面もある。施設の役割や利用者減少傾向を勘案し、施設運営や維持管理の在り方を再検討したい。

問 健康館敷地内の樹木が、旧初原駐在所敷地側へ張り出しており、例年その剪定が求められている。小額予算だが対応に工夫が必要ではないか。

健康長寿課長 維持管理の面で、例年問題となっており、28年度の中で抜本的方策を講じたい。

問 ひとり暮らし老人等に対し緊急通報システムに35台を貸し出す予定だが、月額500円の負担を求めることになる。必要実人数の把握並びに今後の需要面で、効果検証が必要ではないか。

健康長寿課長 必要実人数の把握並びに今後の需要面から、員数の把握や経費負担の在り方、その効果検証を踏まえた予算となるよう努めたい。

保育所の在り方、再考の時期では

問 町民サービス面で、本庁舎と離れた場所に施設があり、諸事務手続きや相談窓口では不便をかけている。窓口のワンストップサービスが必要ではないか。

各課長 高齢化と共に介護認定者等も増え、サービスの在り方が課題となっている。利便性向上へ庁内全体での検討課題と考えている。

問 社会福祉協議会補助金について、その算出根拠が不明瞭であり、補助金額の適正な在り方について再精査を行うべきではないか。

町民福祉課長 永年、例年にならって予算計上を行って来ており、要綱に基づく算出根拠や事業実績の確認等、本来の補助施策となるよう整理する。

問 今後も少子化傾向が続く。町全体の保育所の適正配置を踏まえた検証が必要である。また、幼保一元化の面からも保育所の在り方を再考すべき時期ではないか。

町民福祉課長 なお一層少子化が進むことが予測できることから、保育所・幼稚園の在り方や施設配置について、その考えを今夏までにまとめて行く予定である。



健康館敷地内の樹木

下水道・水道事業

主なつかいみち

- 下水道事業費 33億5489万円 (-10億7786万円)
- 水道事業費 8億3728万円 (+1億3222万円)

問 合併処理浄化槽設置整備事業は、その事業目的に鑑み、衛生環境の保持や公害防止の観点と合わせ公共下水道普及地域との格差を少なくするために、事業の普及啓発活動に努める必要があるのではないか。

水道事業所長 この事業においては、県補助金が平成26年度で廃止されているが、町としては、これまでどおり公共下水道

補助制度は継続するのか

処理区域との格差が広がらないよう、今後も事業に対しての補助金制度は続けていく考えである。



手樽地域交流センター

教育・文化

主なつかいみち

- 幼稚園費 7700万円 (-59万円)
- 小学校費 8451万円 (-4010万円)
- 中学校費 4944万円 (+365万円)
- 公民館費 3015万円 (+300万円)
- 文化財保護費 2977万円 (+57万円)

地域交流センターの利用は

問 ネグレクトやDVなど複雑な家庭環境にある生徒について、スクールソーシャルワーカーを配置し、学校間や家庭との連携を図り、不登校などの問題にあたるというところだが、年間50日の派遣では時間が足りないのではないかと。

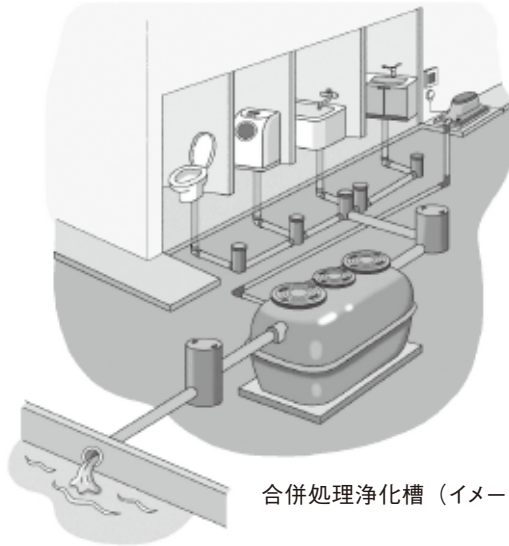
教育課参事 有資格者が少ない中での配置となった。スクールカウンセラーも配置され、そこで解

決できない困難事例について組織間などの連携を図り解決をする仕事となる。他自治体の活動も参考に活動していただく。

問 地域交流センターの今後の利用のあり方についてどのように考えているか。

教育課長 地域交流センターの利用について、教育委員会としては見直し

が必要と考えている。文化財関係の資料も多く、その拠点施設、学び支援施設に手樽地域交流センターを、東部地域交流センターについては、子供たちの生涯学習の場として考えている。今後、教育総合会議の中で検討されるものと考えている。



合併処理浄化槽 (イメージ図)

建設・土木

主なつかいみち

- 道路維持費 2億4076万円 (+8020万円)
- 道路新設改良費 2億326万円 (-28億4390万円)
- 街路事業費 4億7510万円 (+1億8983万円)
- 耐震対策緊急促進費 9685万円 (+8751万円)
- 公園管理費 5461万円 (-278万円)

議会からの意見・要望

窓口対応について

庁舎に來られた住民が、担当部署がわからず困っていることがある。住民サービスの向上と窓口対応の充実のために総合受付等を設けることを望む。

投票率の向上について

公職選挙法が改正され、今年の参議院選挙から、選挙権を持つ年齢が

人事評価について

18才からとなった。新たに選挙権を持つこととなる18才から20才までの若者に対し、選挙権の大切さを認識してもらうために啓蒙に努め、投票率向上につなげていくことを望む。

町民バスの乗り入れについて

北小泉区中出山地区の町民バスの乗り入れについては、現在児童が3人いる。以前から要望していた経緯もあるので、今後の高齢者対策を含め問題点をきちんと整理して、早急に実施すべきである。

職員数の適正化と再任用について

東日本大震災復興事業等の影響で、職員不足が生じ、平成28年度は、他

交通安全指導員の人員不足について

監査委員及び議会からたびたび意見書が出されている交通安全指導員の

定住促進・企業誘致対策について

慢性的人員不足については、対策を講じているが未だ成果が表れていない。より一層の努力を求め、併せて交通安全指導員の防寒対策についても対応を望む。

ふるさと納税の返礼品について

我が町における定住化対策は、喫緊の課題である。定住セミナーやホームページに掲載している空き家バンクなどの充実を図り、町内にある約130件の空き家の情報を広く周知し、活用しなければならぬ。少子化対策の観点からも、特に若

い世代に松島の良さを理解してもらえる町独自の対策を明確にし、議会に対しても定住促進の具体的な内容を示すように望む。



松島町役場総合案内所

ふるさと納税については、多くの自治体が魅力ある返礼品で大きな成果を上げている。

また、人事評価により、精神的負担が懸念されることから、併せて、心のケアをしつかりと対応されることを望む。

平成28年度から、職員の評価方法が勤務評価から人事評価に変更となる。世代交代が進むことから、人材育成を図り、評価する側、評価される側双方の資質向上に努められたい。

また、再任用についても希望者が出やすい環境作りを望む。

また、企業誘致については、東京エレクトロニクスまで凍結状態といわれている東北放射光施設誘致を粘り強く働きかけていく努力を求める。

また、企業誘致については、東京エレクトロニクスまで凍結状態といわれている東北放射光施設誘致を粘り強く働きかけていく努力を求める。

また、企業誘致については、東京エレクトロニクスまで凍結状態といわれている東北放射光施設誘致を粘り強く働きかけていく努力を求める。

また、企業誘致については、東京エレクトロニクスまで凍結状態といわれている東北放射光施設誘致を粘り強く働きかけていく努力を求める。

また、企業誘致については、東京エレクトロニクスまで凍結状態といわれている東北放射光施設誘致を粘り強く働きかけていく努力を求める。

また、企業誘致については、東京エレクトロニクスまで凍結状態といわれている東北放射光施設誘致を粘り強く働きかけていく努力を求める。

また、企業誘致については、東京エレクトロニクスまで凍結状態といわれている東北放射光施設誘致を粘り強く働きかけていく努力を求める。

我が町においては、財務課、企画調整課、産業観光課が中心となり検討されているが、早急に実施されるよう強く望む。

観光・産業振興について

現在の松島の観光振興は、他の産業や町の活性化につながっていない。これからは、今一度原点に帰って、日本三景の名前におぼれることなく、全町民を巻き込んで、町

民一人一人が松島に誇りを持つて観光施策を行うべきである。

また、産業振興については、現状を守っているだけで目新しいものがない。定住促進の観点からも全国規模で就農者を募りバックアップできる体制を整え、新たな若い世代の人材育成を中心に人づくりの施策を考えるべきであり、同時に本町の特産品づくりにについても積極的に取り組むべきである。



松島海岸通り商店街

松くい虫被害対策について

松くい虫被害対策については喫緊の課題であるが、その対策はまだまだ不十分である。平成27年度予算審査特別委員会（第1分科会）からの提言（「（仮称）松の緑を守る基金」の創設）の実現を強く求める。

健康館の樹木剪定について

健康館敷地内樹木が初原駐在所敷地（県有財産処分予定）側へ張り出しているために、樹木の剪定を求められており、維持管理上の面から抜本的方策を望む。

ひとりぐらし老人等緊急通報システムの再構築等について

緊急通報システムは、現在35台が保有されている。今年度は、その一部を携帯電話型に切り替えることから、固定型・携帯電話型ともに月5000円の自己負担が求められ

る。については、今後の需要の面で、効果検証が求められる。

保健福祉センターの維持管理について

保健福祉センターの維持管理について、機械、空調設備、浴槽ろ過装置等保守点検結果に伴う修繕や管理業務員による小修繕を行っている。

施設の老朽化が進んでいることもあり、町民入浴サービス施設の役割や利用者減少傾向を勘案し、修繕計画に基づく管理を望む。

松島町社会福祉協議会補助金の算出根拠について

社会福祉協議会補助金の計上にあたって、要綱に定めている算出根拠が不明瞭であることから、補助金額の適正について再精査を行うべきである。

合併処理浄化槽の普及と維持管理の負担軽減について

合併処理浄化槽設置整備事業補助金及び合併処理浄化槽設置等改造資金利子補給金の事業目的等に鑑み、行政区域内での衛生環境保持や公害防止の観点と合わせ公共下水道普及地域との負担格差を少なくするとともに、事業の普及啓発活動に努められたい。

認知症に対する住民の理解度向上について

介護予防啓発事業補助金や認知症カフェ運営事



認知症サポーター養成講座

業補助金では、起業家やグループホーム等が予定されているものの、今後益々高齢化が進行していく町の実情から、認知症に対する住民の理解度向上について、啓発事業等を一層推進されたい。

保健福祉センターの体制等について

年々、高齢者人口の増加とともに介護認定者も増えていることから、保健師を確保し、巡回サービスの充実を図ること。なお、諸事務手続きや相談窓口での、ワンストップサービス体制の再検討を望む。

各課共通

各種委員会の委員選任について

各種委員会の委員選任については、町の主な団体の代表など同じ人が兼任する傾向がある。幅広く、偏りのない多様な人選を行うよう考慮すべきである。

反対

今野 章 議員

安倍首相は「アベノミクス」で「経済の再生」というが、経済の再生も好循環も実感できない。増えたのは大企業の儲けと非正規雇用172万人。正規雇用は23万人も減り、貧困と格差が広がる。また「緊急事態条項」の創設や改憲の目論見、戦争法の強行など内閣は暴走し、社会保障の削減、消費増税など国民負担ばかり増えていく。

この政治の在り方は、本町の予算にも反映し、人事評価制度導入で町民の権利侵害や福祉切り捨てなどが懸念される。保育士確保が困難で補助員により保育が担われ、介護が必要な高齢者を介護保険制度から排除する準備も進む。重点施策の定住促進は、これまでの違いが見えず、その本気度が問われていると申し上げ反対の討論とする。

賛成

櫻井 靖 議員

厳しい予算の中、日本三景松島の復興を町民や来訪者に実感してもらえるよう、復興事業を最優先としながらも、近隣市町に先駆け「子ども医療費助成」の18才までの拡大と所得制限の撤廃を実現し、「子育て支援」に対し積極的に取り組んでこうとしている姿勢は、大変評価するところであり、町民へのサービスの向上や安心・安全なまちづくりをして行こうという意欲は、ここ数年ではなかったことである。

今まで膠着状態であった「定住の促進」「産業振興」「雇用創出」「企業誘致」についても少しずつではあるが前進する兆しがかがえる。ぜひ「行動力で、活力あるまちづくり」を実現してもらえらることを期待して、賛成の討論とする。

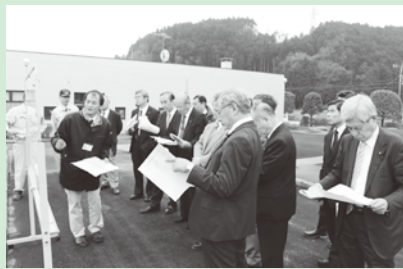
予算審査特別委員会

現地調査

予算審査特別委員会は、3月8日(火)第一幼稚園他4ヶ所の現地調査を行いました。

松島浄化センター

松島浄化センター長寿命化事業



松島第一幼稚園

松島第一幼稚園遊具設置事業及び改修事業



松島野外活動センター

松島野外活動センター円形広場整備事業



その他

- 根廻磯崎線道路整備事業(磯崎側)
- 漁港施設災害復旧事業(名籠漁港)

国民健康保険特別会計予算

反対

今野 章 議員

国保は、加入者が高齢化し約半数が年金生活者である。年金生活に移行し収入が減る一方、多くの病気を抱え医療費の負担が重くなる年代でもある。わずかな年金収入から高い国保税の負担は困難で、国保税滞納の要因となっている。

国保は、脆弱な基盤にあり公費負担で支えなければ成り立たないが、国庫負担削減が国保会計の運営を苦しくしてきた。その為、国は27年度より低所得者対策として保険者へ財政支援を行っており、この財源を活用し重過ぎる国保税の引下げを行うべきである。

また、こうした国の措置が、国保の現状を抜本的に改善するものではなく、町は国庫負担率を元に戻すよう国に積極的に働きかけるべきと申し上げ反対の討論とする。

賛成

小幡 公雄 議員

国民健康保険特別会計予算は、歳入歳出20億7745万1000千円で、昨年度比4・8%減となり、その額は1億549万5000円である。

その主な理由の一つは、医師の診療報酬の引き下げによるものである。また、被保険者数は1774人で、昨年度より7%減となっており、無資格者の存在はないと報告されている。

国民健康保険法に基づく町民への給付は確実に行われており、賛成討論とする。

後期高齢者医療特別会計

反対

今野 章 議員

この医療制度は、収入がなくても75歳以上の全員に保険料が課され、2年ごとに見直される。

75歳以上の人口と医療費が増加するほど、保険料負担に跳ね返り、保険料が上昇していく仕組みになっている。

これは高齢者の生活実態を無視して、能力を超えた負担を求めようとする仕組みである。

この制度は、年齢で医療内容を変化させる差別的医療制度でもあり、高齢者に我慢と犠牲を強いる冷酷な制度である。

このような医療制度は直ちに廃止し、国の責任を明確にし、安心して高齢者が医療にかかれるよう制度設計することを求めて反対の討論とする。

賛成

赤間 幸夫 議員

後期高齢者医療制度に関する事務は、基本的に広域連合で実施し、市区町村は保険料徴収及び窓口業務を行っている。

後期高齢者医療特別会計の歳出に占める医療広域連合納付金の割合は、98%以上であり義務的経費である。

松島町は、県下市町村と比較し高齢化率が高く、今後益々高まっていくことが予測されており、この制度による恩恵は計り知れないものがある。

町自体が独自に制度設計や被保険者へのサービス展開ができるよう検討を重ねることは大切であるが、県下市町村との相互連携、緊密な関係の基に広域連合が組織されたことを踏まえると、松島町は現行制度の維持と特別会計予算組は堅持しなければならないものと判断し、賛成の討論とする。

議案 審議

10年後の松島の姿を問う 長期総合計画基本構想

「地方自治法96条第2項議会の議決事件」

議会の議決事件については、代表機関である議会が、町政における重要な計画等の決定に参画する観点及び同じく代表機関である町長の政策執行上の必要性を比較考量のうえ、定めるもの。

長期総合計画基本構想の策定

主な内容

平成28年度から平成37年度までの10年間を計画年度として、町の将来像とその実現に向けた進むべき方向性（基本目標）を明らかにするもの。

質疑

今野章議員

基本構想の中身を実現するために、その取り組み内容を基本計画として示されたが、観光がメインとなっており商業や農林水産業の1次産業の部分には、光が当てられた計画となっ

ていないのでは。

企画調整課長

地場産品の地産地消も含めた起業や商業の起業、あるいは1次産業との連携も含めた観光振興を展開していく内容で、計画策定したつもりである。

赤間幸夫議員

長期総合計画の基本構想部分を具現化するための方法論、意気込みは。

町長

定住施策を重点に、土地利用を含めて諸問題は全部、一つ一つ詰めていき、議会の皆様も歩調を合わせていただき、バックアップしていただければありがたい。

菅野良雄議員

構想は議決事項だが、個別の基本計画部分では議会も交えた議論が必要であり、この10年間の構想を前期・後期とするのか。それとも計画期間が10年間だから10年間の計画を進めるということか。

企画調整課長

現時点では前期と後期を5年、5年で分けて基本計画の具

現に努めていきたい。

討論

反対

今野 章議員

新しい計画では10年後の町の人口を1万4000人とし、そのために宅地の開発や企業誘致、福祉や教育の充実など総合的な観点で定住を推進するとしている。本

当に10年後、町の人口が1万4000人で歯止めをかけることができるか。自治体の一番の仕事は住民福祉の充実にある。増税や負担増、格差と貧困が広がる中、この基本構想は住民の福祉の充実、実現に込め得るものになつていくのか。

次に、1次産業は経済の土台であり食糧生産を担う大切な産業であるが、後継者不足が深刻な問題にあり、計画では今後の課題として農業経営の合理化と生産性の向上、農業生産基盤の整備によって担い手不足を解消するとしている。これでは論理が逆転している

のでは。この計画は国の農業切り捨て政策をそのまま推進しようとする政策だと思う。以上のような点を指摘し、長期総合計画基本構想案に反対の討論とする。

賛成

色川 晴夫議員

この2年間、膨大な時間と予算をかけ計画を練り上げている。町長は昨年まで議員であり、執行部となつて初めてこの計画を立てた。

松島町にはさまざまな課題、問題がたくさんあると思う。これを10年後櫻井町長が町民に向かって報告できるような実行力を持った町政運営していただきたい。我々議員も、それを監視していく。

計画の策定過程には議員も入れてほしい。議員は常日ごろ町民の皆様と、いろいろな問題を議論していることから、いろいろな代表者の方、産業界の代表者の方も大変すばらしいご意見を持っていてと思う。しかし、こういう全体

的な議論をするためには、議員の人たちの参加が必要だと思う。10年後、このような問題がまた議員から質問されることのないよう期待をして、賛成の討論とする。

賛成多数・可決

松島町国土利用計画（第四次）の策定

主な内容

現在の社会情勢等の変化に対応する形で、松島町長期総合計画（基本構想）に即し、10年後の松島町が目指すべき将来像に向け、計画的な町土地利用が図れるような必要な事項を決めたもの。

討論

反対

今野 章議員

松島町国土利用計画の策定ということで、松島町長期総合計画に即して作成されている。長期総合計画に反対をした立場から、これも反対とする。

賛成多数・可決

行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

主な内容

平成28年4月に行政不服審査法が全面改正されることに伴い、不服申し立て手続きの審査請求への一元化、審理委員による審理手続きの導入、審査請求期間の延長その他諸手続きの整備等といった改正内容を関係条例に反させるために、本条例を制定するもの。

賛成全員・可決

松島地区安全安心なまちづくり避難公園の設置及び管理に関する条例の制定

主な内容

自然、景観を生かした公園として、平時においては地域住民及び観光客が交流を図る公園として、災害時においては避難場所として、適切な管理運営がなされるよう、必要な事項について定めるもの。

質疑

櫻井靖議員

たき火、火器の持ち運びその他危険な遊びをしてはならないが、ここは避難公園となっており、何かあれば炊き出し等も行う。また、かまどを設置するが、整合性はどうかっているのか。

産業観光課長

たき火、火器の持ち運びは通常時の使い方になる。キャンプファイアーや花火等については禁止である。災害時に関しては、防災かまどを設置しており対応していく。

色川晴夫議員

写真の撮影時、撮影機1台につき1日800円とあるが、撮影機というがカメラも含むのか。

産業観光課長

なりわいとしての写真撮影ということなので、カメラ等も1台ということになる。

今野章議員

花見について、常識的な範囲内といういうことで考えていいのか。

副町長

常識的な行為の範囲でお願いしたい。賛成全員・可決



西行戻しの松公園

一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正

主な内容

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律が、平成28年4月1日から施行されることに伴う所要の改正を行うほか、その他字句の整理を行うもの。

質疑

今野章議員

職員の給与はその職務と責任に相応するものでなければならぬが、運用のところ現場で違ってくることは何か。

総務課長

人事評価制度が出てくる。

菅野良雄議員

特殊な事業や事務事業を進めるために任期付職員を採用する考えはあるか。

総務課長

いずれ採用することはあり得る。

賛成全員・可決



庁舎2階

松島町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正

主な内容

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律が、平成28年4月1日から施行されることに伴い、報告事項に「職員の人事評価の状況」、「職員の休業に関する状況」、「職員の退職管理の状況」を追加し、「勤務成績の評定」を削除する改正を行うほか、その他字句の整理を行うもの。

側ということで、勤務評定と混同してはいけないと思うがどうか。

総務課長

そのとおりである。勤務評定というのが実質上なくなり、人事評価だけになる。

菅野良雄議員

今回の議会で報告あつた交通事故やときどきの事務処理ミスなども評価されるのか。

総務課長

事故やミスの程度にもよるが評価の対象にはなつてくると考える。

今野章議員

人事評価制度は能力実績主義を実現するための手段であり、成果主義につながると思うがどうか。

質疑

赤間幸夫議員

人事評価は評価をする側とされる

総務課長 適正に人事評価を行いつつ給料を上げるための根拠づくりでもある。

色川晴夫議員 心の病について、相談窓口の充実を図るべきだと思うがどうか。

総務課長 職員間で欠けているのがコミュニケーション能力であり、この向上を図っていきたい。

討論

反対 今野 章議員

地方公務員の勤務評定を廃止し、能力評価と業績評価を中心に人事評価制度の導入を図るものであり、地方公務員の仕事に成果主義はなじまないものと考える。また職員は、上司の顔を窺って、町民の方を向かなくなってしまうと懸念をすることがある。

賛成 菅野 良雄議員

法律の改正に伴うものであり、職員を適正に評価しながらスプレッド指数をアップさせる

という目的でもある。職員がプレッシャーに感じないように、評価をする職員もしっかりとした適正な運用をされることを望む。

賛成多数・可決

職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

主な内容

地方公務員法及び地方独立行政法人法の一部を改正する法律及び学校教育法等の一部を改正する法律が、平成28年4月1日に施行されることに伴う所要の改正及び早出、遅出勤務の申請に係る要件の改正を行うもの。

質疑

菅野良雄議員 この条例が改正されることで、影響のある職員はいるか。

総務課長 近々には出てこないとは思っていたが、人事院規則の改正により必要性が出てきたということがある。

賛成全員・可決

松島町長等の給与に関する条例の一部改正

主な内容

平成27年8月6日に出された人事院の勧告に鑑み、町長等に支給する期末手当の引き上げを行い、支給率については国の指定職と同様の改正を行うもの。

賛成全員・可決

職員の給与に関する条例の一部改正

主な内容

平成27年8月6日に出された人事院の勧告に鑑み、一般職の職員等に支給する給料及び勤勉手当の引き上げ等に係る措置について国の一般職と同様の改正を行うもの。

質疑

色川晴夫議員 職員の給与について、他の市町村並みに早く検討していただければと思うがどうか。

町長 人事評価等々で今後できるだけ早く見直す

べきと考える。

賛成全員・可決

松島町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正

主な内容

地方公務員災害補償法による年金たる補償のうち、傷病補償年金及び休業補償と同一の事由により厚生年金法による障害厚生年金等が併給される場合の調整率を0・86から0・88に改正するほか、被用者年金制度が一元化されたことに伴い公務災害による損害補償の適正な運用を図るために表及び字句の整理もあわせて行うもの。

賛成全員・可決

松島町東日本大震災復興交付金基金条例の一部改正

主な内容

復興交付金事業計画期間の計画期間の設定が平成23年度から平成32年度までの10年間に延長さ

れたことに伴い、本町における復興交付金事業の実施状況を勘案して、松島町議会東日本大震災復興交付金基金の効力を失う期日を平成33年12月31日に延長するために改正するもの。

賛成全員・可決

松島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

主な内容

学校教育法等の一部を改正する法律が平成28年4月1日に施行されることに伴い、小中一貫教育

を行う学校の名称で、「義務教育学校」が加えられることから、児童を保育する放課後児童支援資格に「義務教育学校の教諭となる資格を有する者」を加えるため行うもの。

質疑

菅野良雄議員 このような資格持っている教員はいるのか。

教育長 免許状自体、小中の免許状を併有している教員はいる。

賛成全員・可決



放課後児童クラブ（写真を加工処理しています）

松島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正

主な内容

介護保険法の一部改正により、指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準が改正されたため、当該条例の改正を行うもの。

主な改正点としては、小規模通所介護（定員18人以下のデイサービス事業）の指定権者が県から市町村に変わったことに伴い、指定基準を設けるもの。

質疑

今野章議員

県の指定であった小規模の通所介護が町村レベルに許認可権がおりてくる。事務量が増えると危惧されるが、十分に対応できるのか。

健康長寿課長

実地指導

や監査のほか指定に係る業務等は県の方から指導をいただきながら進めていく。

色川晴夫議員

運営にかかる基準に合致しているか。

健康長寿課長

厚生労働省で決めている基準により運営されている。4月1日以降は運営推進会議を設置していただくことになる。

高橋利典議員

地域密着型の通所介護は事業所がある市町村の住民しか利用できないのか。

健康長寿課長

地域密着であることから原則としては事業所がある市町村の方々に利用していただくことになる。

賛成全員・可決

松島町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正

賛成全員・可決

主な内容

指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令が公布されたことに伴い、指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準が改正されたため、当該条例の改正を行うもの。

主な改正点としては、指定介護予防認知症対応型通所介護事業者に運営推進会議を開催させる基準を追加するもの。

賛成全員・可決

松島町避難施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正

主な内容

長田避難所及び古浦避難所並びに松島防災センターの建設に伴い、本条例に当該施設を加えるもの。

賛成全員・可決

町道の路線認定

主な内容

復興交付金事業における避難道路として整備することに伴い新規に路線を認定するもの。

質疑

櫻井靖議員

高城枝1号線がなぜ必要でこのような道路にならなければならないのか。

建設課長

高城町線の方への避難道としてこのルートが必要であると復興計画に位置づけした所である。

賛成全員・可決

工事請負契約の締結（町道霞ヶ浦幹線外避難道路整備工事）

主な内容

東日本大震災復興交付金事業として実施する町道霞ヶ浦幹線外避難道路整備工事に関するものであり、去る2月12日に入札に付し、請負契約を締結するもの。

○契約金額

1億767万円
○契約の相手方
我妻建設株式会社
(仙台市)

質疑

色川晴夫議員

この辺はどの程度の勾配になるのか。

建設課参事

一望閣さんから向かいカーブのところまで8%で上り、それからブリーズベイさんから

向かって7%ぐらいで下っていく。

赤間幸夫議員

除融雪対策も含め表面舗装等の工夫はどうなるのか。

建設課参事

表面の舗装については、勾配がきつい区間は滑り止め舗装で検討している。また舗装の合材にゴム入りの舗装を検討している。

賛成全員・可決



町道霞ヶ浦幹線外避難道路整備工事の様子

工事請負契約の変更
(松島海岸公園避難施設整備工事)

主な内容

観瀾亭分室、大屋根の野地板、縁側軒先の部材の交換の必要が生じたこと、また、景観に配慮し電線の埋設改修及び監視カメラを増工するため、工事費を変更するもの。

○契約金額

変更前 9504万円

変更後

1億460万1240円

○契約の相手方

(株)鈴木工務店

(塩竈市)

質疑

今野章議員 956万円

余りの増額変更は、なぜか。

建設課長

基本的に古い建物で、ある程度そのまま使えるだろうとして、進めてきた。

副町長

建物の内部に隠れていたものがだめだった。その部分が大体400万円ぐらい、ほかに防犯カメラ、引き込み線が大体半分以上になる。

色川晴夫議員

今後こういうことがあつてはだめ

だ。電線の移設・埋設とカメラの設置工事は金額幾らか。

建設課長

カメラは190万円、電線架は280万円がかかる。

高橋幸彦議員

この業者のように複数受注している場合は、請負い差額の追加変更という面では、注意を払うべきではないか。

町長

復興事業の発注件数が多く、追加工事・変更契約に関してはかなり厳しく見ているつもりである。

賛成多数・可決

工事請負契約の締結
(浪打浜排水区雨水管渠築造工事)

主な内容

公共下水道施設災害復旧事業として実施する浪打浜排水区雨水管渠築造工事に関するものであり、去る2月25日に入札に付し、請負契約を締結するもの。

○契約金額

6億1344万円

○契約の相手先

奈良建設株式会社仙台支店(仙台市)

質疑

阿部幸夫議員

町頭から松島湾へ放流すると思うがポンプ場を通さないで自然放流はできるのか。

水道事業所施設班長

国道横断については、新しい横断管を入れる。それから上流側からの直放ルートの水を直接松島湾に流していくということになる。

色川晴夫議員

側溝の改修にあわせて工事をやる

のか。
建設課参事 下水道工事が完成した後に側溝改良工事や道路整備に入る予定である。

賛成全員・可決

専決処分の報告

〔専決処分〕

地方自治法で定められており、緊急時で議会を招集する時間がない場合等、予算や条例などを首長が議会の議決を経ずに自らの権限で決めること。

●報告3件

和解及び損害賠償の額の専決処分の報告として公用車に係る物損事故に対する和解が成立し、町が相手方に対し損害賠償を行った旨の報告があつた。

議員からは、いずれの報告も駐車場や宅地内での車の接触によるものであり、注意義務履行の徹底と過去の同様事故のケースを踏まえた町側の事故防止徹底を求める質疑があつた。なお、3件の

損害賠償額の合計は38万3828円であり、保険による支払済みである。

▼第1号

日時

平成27年11月12日

場所

仙台市青葉区上杉1

丁目地内

賠償金

10万7863円

▼第2号

日時

平成27年11月2日

場所

松島町幡谷地内

賠償金

18万円

▼第3号

日時

平成27年12月18日

場所

名取市美田園地内

賠償金

9万5965円



一般会計補正予算 (第6号)

主な内容

人事院勧告に鑑みた給与の改定、職員の育児休業、病気休職者等及び共済組合負担金の算定が標準報酬制に移行したことに伴う人件費並びに各事務事業の精査、事業費の確定等により補正する。

●地方公共団体情報セキユリテイ強化対策事業（情報セキユリテイ対策として、個人番号を含めた住民情報の保全の強化を図る）
1300万円

●土地開発基金保有地買戻し事業
（復興交付金事業等に関連して平成27年までに土地開発基金で土地購入した公有財産を一般会計で買戻しする）
6564万6千円

質疑

年収360万円未満の1人世帯は、保育料が半額に

今野章議員 子ども子育て

て支援システム改修業務に関連して無償化になる事業があるということだが、具体的にどのような事業になるのか。

町民福祉課長

これまで保育料については、3人就学前の子供がいれば2人目は半額、3人目はゼロとなっていた。システム改修により、年収360万円未満の1人世帯については、第1子目から半額で第2子目はゼロの改修内容になる。

根廻磯崎線 ルート変更

色川晴夫議員 根廻磯崎線土地購入について、これまで路線に係る地権者から賛同を得なかつたが、その方が応じてくれたのか、別なルートになったのか。

建設課長

ルート変更というところで県と協議している。ただし、当初の土地の一部はかかるが、家屋にはかからないという形で内諾を得ている。また、ルートを変更することで2件ほど住宅地がか



町道根廻磯崎線

緊急雇用の成果は

高橋利典議員・色川晴夫議員同一質問
林業振興費の緊急雇用関係で3人を雇用して、2人がやめた。次の雇用につなげるとか、次のステップにいく雇用にはなかなか結びついていない。きちんと生産に結びつくような指導が必要ではないか。

東京電力の賠償金の算定基準は

菅野良雄議員 東京電力の賠償金という歳入があるが、算定基準はどこから出てきた基準か。また、一般財源として使えるのか。

菅野良雄議員 東京電力の賠償金という歳入があるが、算定基準はどこから出てきた基準か。また、一般財源として使えるのか。

産業観光課長

この事業を通して新たな職として結びついていかなかったが、この竹林・山林等整備事業を進めてきた中で、就労のほかにタケノコについて加工という形

国民健康保健特別会計補正予算(第4号)

主な内容

給与改正等及び共済組合負担金算定の標準報酬制移行に伴う人件費の精査によるものであり、また、出産育児負担金、特定健康診査等事業費の実績見込みに伴う精査及び平成28年1月14日付保険財政共同安定化事業拠出金等の額の確定並びに平成26年度療養給付費等負担金の予定額通知に基づく国庫負担金返還金等について補正する。

療養保険基盤安定負担金の確定に伴い、後期高齢者医療広域連合納付金を補正する。

介護保健特別会計補正予算(第4号)

主な内容

給与改正及び依願退職者1名のほか、共済組合負担金算定の標準報酬制移行に伴う人件費の精査並びに保険給付費等の実績見込みに伴う精査、平成26年度国・県負担金等確定に伴う返還金等について補正する。

観瀾亭等特別会計補正予算(第2号)

主な内容

給与改正及び共済組合負担金算定の標準報酬制移行に伴う人件費の精査並びに事業収入等の実績見込みに伴い補正する。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

主な内容

後期高齢者医療保険料の精査及び後期高齢者医

**下水道事業特別会計
補正予算**
(第4号)

主な内容

国道45号松島地区下水道管渠移設実施設計業務及び松島浄化センター長寿命化改築工事委託並びに割波地内雨水路整備工事を精査し、浪打浜排水区雨水管渠築造工事について、国庫負担金内示額変更通知に基づき事業費を減額する。

なお、磯崎第二雨水ポンプ場建設工事委託及び西柳雨水ポンプ場建設工事委託については、用地買収や他事業との調整に時間を要することから、平成28年度当初予算に事業を計上し、実施するため今回減額する。また、高城浜災害復旧事業実施設計業務について補正し、一般会計繰入金を減額するものである。

なお、松島浄化センター長寿命化改築事業ほか5事業について、年度内完了が見込めないことから繰り越しするものである。

賛成全員・可決

**水道事業会計補正
予算**
(第4号)

主な内容

人事院勧告に鑑み、水道事業企業職員に支給する給料及び勤勉手当の引き上げ等に係る措置について必要所要額を補正する。また、資本的支出における事業精査に伴い委託料及び工事請負費をあわせて補正する。

賛成全員・可決

一般会計補正予算
(第7号)

主な内容

平成28年2月29日付東日本大震災復興交付金事業の第14回配分交付可能額通知のあつた6事業分について、全額積み立てするもの。

賛成全員・可決

**平成28年度
一般会計補正予算**
(第1号)

主な内容

東日本大震災復興交付金事業の第14回配分交付

可能額通知があつた町道柿ノ浦線避難道路整備工事及び下水道事業特別会計で事業実施する小石浜雨水管渠築造工事等に係る繰出金及び、東日本大震災の復旧・復興に当たる職員不足を解消するため、秋田県にかほ市職員、神奈川県任期付職員各1名の派遣が決定したため補正する。

質疑

赤間幸夫議員 自治体からの派遣職員の給料や必要人件費等は派遣元が支払っているのか。

総務課参事 給料・手当等については、派遣元から請求をうけ、負担金として町から支払う。

また、赴任、帰省、派遣元に戻る際の事務連絡等の旅費も町が支払う。

色川晴夫議員

東日本大震災復興交付金事業は今年度で第14回配分の交付であるが、今後、どのような復興事業が入ると想定されるか。

震災復興対策監

平成27

年度末見込みで進捗は70%ぐらいである。今後は、避難道路整備事業、雨水排水整備事業等の工事費が残っている。

賛成全員・可決

**平成28年度
下水道事業特別会計
補正予算**
(第1号)

主な内容

東日本大震災復興交付金事業の第14回配分交付可能額通知があつた松島地区外内水対策事業小石浜排水区の雨水管渠築造工事及び小石浜雨水ポンプ場工事について補正する。

質疑

後藤良郎議員 水害の度に何とかしてくれと言われている小石浜の関係の工事は、平成28年度完成と考えていいか。

水道事業所長 追加補正の分の契約がうまくいけば、28年度中に完成させたい。

賛成全員・可決

議員提案

松島町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

主な内容

民間給与が国家公務員給与を上回り、特別給についても、民間事業所の支給割合が国家公務員の

支給割合を上回ったため、人事院勧告で国家公務員の月給給、ボーナスとも引き上げの勧告となっている。このような社会情勢を鑑み、松島町議会議員の期末手当を0・05月分引き上げるため、所要の改正を行う。

賛成全員・可決

東日本大震災復興交付金事業 第14回配分表 (単位:千円)

交付対象事業名	配分事業の概要	配分額等 (対象事業年度:28年度)	
		配分額	
		事業費	交付金
手樽柿ノ浦地区避難路整備事業	■工事費 道路整備工事	47,193	62,925
松島地区外内水対策事業	■工事費 ・管渠工事 ・ポンプ場増設工事 (小石浜地区)	70,000	87,500
高城・磯崎地区避難路整備事業	■工事費 道路整備工事	4,605	6,141
松島地区外下水道事業	■工事費 管渠工事 (長田排水区)	50,447	67,263
災害公営住宅家賃低廉化事業	■災害公営住宅に係る家賃低廉化	20,433	23,353
東日本大震災特別家賃低減事業	■災害公営住宅に係る家賃低減化(家賃減免)	4,912	6,550
合計		197,590	253,732

皆さんからの

請願・陳情

請願

松島町の観光振興対策に関する請願

第1常任委員会報告……採択

《趣旨》

観光客から「松島に温泉を」の願いを受け、開湯から7年が経過した。現在では温泉組合が7施設となり、年間4500万円に及ぶ入湯税を納めるまで至っている。その反面、各施設とも温泉施設の維持管理に毎年多額の資金投入が強いられている。

魅力ある温泉観光地として活性化していくために「温泉汚水に対する下水道使用料体系の見直し」と「入湯税の用途の明確化」を求める。

討論

反対

今野 章議員

全町民の立場に立っていろいろな角度から審査をされることが大事であり、請願者からの熱意に押された形になっている。そういう点からして非常に不十分な審査に終わっている。

賛成

櫻井 靖議員

下水道使用料体系の見直しが実現されれば今後さらなる温泉施設の増加が見込まれ観光客数の安定化につながる。

賛成多数・採択



松島温泉

陳情

中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書の提出を求める陳情

第1常任委員会報告……不採択

《趣旨》

労働の対価は当然経費であり、働き手が親族であっても変わらない。所得税法第56条は、個人事業主による配偶者とその他の親族への対価の支払いを必要経費から排除している。所得税法第56条を改正し、自家労賃を必要経費として認めることを求める。

討論

賛成

今野 章議員

所得税法第56条は、家族従業員がいる場合の必要経費の取り扱いについて規定したものであり、所得分割で控除額を低く抑制するものである。

反対

櫻井 靖議員

白色申告にするか、青色申告にするか、選択の自由が認められている。税金の平等からも現状で良い。

賛成少数・不採択

陳情

軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

《趣旨》

脳しんとうは、軽度の外傷性脳損傷であり、頭頸部に衝撃を受けた後、あるいはむち打ち型損傷後に発生することがあり、治療を必要とする重篤な症状を引き起こす可能性があります。誰もが日常の活動中に受傷する可能性があり、サッカーやボクシングなどの衝撃性のスポーツでは、そのリスクが高くなることから、脳しんとう及び軽度外傷性脳損傷への対応についての適切な措置を国及び政府に提出されるよう陳情する。

〔陳情者〕

大阪府東大阪市六万寺町

三ー一二ー三三

軽度外傷性脳損傷仲間の会

代表 藤本久美子

この陳情は、所管の第2常任委員会に付託された。

平成28年 第1回松島町議会定例会 議案採決結果

全：賛成全員（可決・採択） 多：賛成多数（可決・採択） 否：賛成少数（否決・不採択）

○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席

※片山正弘議員は議長のため採決に加わりません

議案番号	議案名	議決 月日	採決 結果	澁谷 秀夫	赤間 幸夫	櫻井 靖	後藤 良郎	小幡 公雄	高橋 幸彦	今野 章	太齋 雅一	色川 晴夫	菅野 良雄	高橋 利典	阿部 幸夫	片山 正弘	賛 成	反 対
請願第1号	松島町の観光振興対策に関する請願について	3月2日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	-	10	2
陳情第2号	中小業者の自家労賃を必要経費として認めることを求める意見書の提出を求める陳情について	3月2日	否	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	-	3	9
議員提案第1号	松島町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第1号	松島町長期総合計画基本構想の策定について	3月4日	全	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	-	9	3
議案第2号	松島町国土利用計画(第四次)の策定について	3月4日	多	○	○	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	-	9	3
議案第3号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第4号	松島地区安全安心なまちづくり避難公園の設置及び管理に関する条例の定例について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第5号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第6号	松島町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	3月4日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第7号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第8号	松島町長等の給与に関する条例の一部改正について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第9号	職員の給与に関する条例の一部改正について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第10号	松島町議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例等の一部改正について	3月4日	多	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第11号	松島町東日本大震災復興交付基金条例の一部改正について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第12号	松島町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第13号	松島町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第14号	松島町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第15号	松島町避難施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第16号	町道の路線設定について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第17号	工事請負契約の締結について(町道霞ヶ浦幹線外避難道路整備工事)	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第18号	工事請負契約の変更について(松島海岸公園避難施設整備工事)	3月4日	多	○	○	○	○	○	○	×	欠	×	○	○	○	-	9	2
議案第19号	平成27年度松島町一般会計補正予算(第6号)について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第20号	平成27年度松島町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第21号	平成27年度松島町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第22号	平成27年度松島町介護保険特別会計補正予算(第4号)について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第23号	平成27年度松島町観瀾亭等特別会計補正予算(第2号)について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第24号	平成27年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第4号)について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第25号	平成27年度松島町水道事業会計補正予算(第4号)について	3月4日	全	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	11	0
議案第26号	平成28年度松島町一般会計予算について	3月16日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第27号	平成28年度松島町国民健康保険特別会計予算について	3月16日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第28号	平成28年度松島町後期高齢者医療保険特別会計予算について	3月16日	多	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	-	11	1
議案第29号	平成28年度松島町観瀾亭等特別会計予算について	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第30号	平成28年度松島町介護保険特別会計予算について	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第31号	平成28年度松島町介護サービス特別会計予算について	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第32号	平成28年度松島町松島区外区有財産特別会計予算について	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第33号	平成28年度松島町下水道事業特別会計予算について	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第34号	平成28年度松島町水道事業会計予算について	3月16日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第35号	工事請負契約の締結について(浪打浜排水区雨水管渠築造工事)	3月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第36号	平成27年度松島町一般会計補正予算(第7号)について	3月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第37号	平成28年度松島町一般会計補正予算(第1号)について	3月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0
議案第38号	平成28年度松島町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について	3月17日	全	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	12	0

採決表

一部事務組合議会報告

宮城東部衛生
処理組合議会

塩釜地区消防
事務組合議会

宮城県後期高齢者
医療広域連合議会

平成27年12月24日(木)、
平成27年第4回宮城東部
衛生処理組合議会定例会
が開催された。

付議事件は(1)行政不服
審査第81条第1項に規定
する機関の事務を宮城県
に委託することについて、
(2)行政手続きにおける特
定の個人を識別するため
の番号の利用等に関する
法律の施行に伴い、特定
個人情報情報の適正な取り扱
いの確保等を図るための
所要の改正、(3)共済年金
が厚生年金と統一された
ことに伴い、公務災害補
償条例において減額支給
調整を行う。(4)歳入歳出
それぞれ237万5千円
を増額し、予算総額11億
737万9千円するもの
である。全議案可決され
た。

後藤良郎 議員
今野 章 議員

平成27年12月22日(火)、
平成27年第4回塩釜地区
消防事務組合議会が開催
された。

行政報告として、火災
発生件数は28件で、その
内松島町3件の発生であ
る。救急出場件数は75
59件で、その内松島町
は802件である。
更に、し尿及び浄化槽
汚泥の搬入総量は717
5トン、斎場の利用実績
は1448件である。

平成27年度塩釜地区消
防事務組合一般会計補正
予算外、6議案について
は全議案可決された。

高橋利典 議員
赤間幸夫 議員

平成28年2月5日(金)、
宮城県後期高齢者医療広
域連合会定例会が開催さ
れた。提案された議案は

8件で、(1)情報公開条例
の一部改正(2)個人情報保
護条例の一部改正(3)情報
公開・個人情報保護審査
会条例の一部改正(4)医療
に関する条例の一部改正
(5)平成27年度医療特別会
計補正予算(6)平成28年度
一般会計予算(7)平成28年
度特別会計予算(8)宮城県
後期高齢者医療広域連合
と宮城県との間の行政不
服審査法第81条第1項に
規定する機関の事務の委
託については全議案可決
された。

色川晴夫 議員

議会活動

◆主な活動内容

・12月16日 利府松島商
工会との意見交換会

〔今後の商工業の進め方
等について話し合っ
た。〕

・1月8日 町民新年会
〔町民の皆さまと平成28
年の新年を祝った。〕

・1月27日 宮城黒川地
方町村議会委員長研修会

〔各町村からテーマをも
ちより、活発な意見交換
を行い、成果を見出すこ
とにつながった。〕

・1月29日 2市3町議
長団連絡協議会議員研修会

〔松島町で開催。当町在
住の宮城大学地域連携セ
ンター教授の鈴木康彦氏
から、「震災から5
年・・・私どもの向うと
ころは・・・」と題して
講演をいただく。特に復
興支援と知的財産の活用
や中小企業再生などで、
わが町に活用出来る内容

であった。〕

・1月21日 石田沢地区
防災まちづくり拠点施設
他建設工事安全祈願祭

〔松島町最大規模となる
拠点施設の早期完成と工
事の安全を祈願した。〕

・2月10日 議会報告会
全体会議
〔多くの町民の皆さんか

らいただいた御意見に対
し、町の考え方等の内容
をまとめた「議会たより
号外」の発行に向けた最
終会議を実施。(号外は
3月1日発行済)

・その他

〔宮城黒川管内の議員の
交流や研修を積みかさね
資質向上に努めるとも
に、町の行事等にも積極
的に参加し、町民から見
える活動を行った。〕



2市3町議長団連絡協議会議員研修会



並木 寿子さん
(磯崎)

2つの地区に住んでみて

松島に定住して8年。あの東日本大震災が起るまで、私は、松島地区の水主町で毎日観光客のような暮らしをしておりました。瑞巖寺や五大堂といった歴史的建造物にも徒歩で行け、整備されたグリーン広場で、本を読む時間も私の生活の一部。そんな優雅な生活が来りました。

震災後、家を購入し、磯崎地区の住民となったのですが、この地区の公園の少なさに驚きました。陽よけの大きな木の下にベンチがあり、落ち着ける空間をもっと増やして欲しいと思います。欲を言えば、少し高台

で、行き交う漁船を見下ろせたらどんなに素敵でしょう。元々磯崎地区は、漁業で栄えたようですが、今は会社員と半々。お互いを知るコミュニケーションの場が、正直少ないと思います。また、道路の高低差が多い割には、座って休めるベンチも少ないように感じます。ベンチがあれば交流の場になるのではないのでしょうか。長くお世話になる地区なので、議員の皆様にも、光を当てていただきたく思います。

townspeople

視察来町

福島県北塩原村議会 議会運営委員会

2月4日(木)、福島県北塩原村議会 議会運営委員会が、東日本大震災からの復興及び議会基本条例制定の経緯等の調査のため、視察来町しました。復興に向けた事業や計画及び議会基本条例制定に係る議会改革・活性化等についての説明後、意見交換を行いました。



表紙を飾られた皆さんからのメッセージ

松島町分館長 会長 岩井 善美

この度は、まつしま議会だよりに掲載いただきありがとうございます。また、日頃より松島町公民館分館活動に温かいご支援、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

分館活動は、教養の向上・健康の増進・生活文化の振興・社会福祉の増進に寄与することを目的として町内12行政区分館で活動しています。

今年も分館相互の親睦を図ると共に、町民が気軽に生涯スポーツに取り組んでいただけるよう町民ふれあいスポーツ大会を6月5日に運動会形式で、変化に富んだ種目を準備しましたので、是非ご参加下さいませ。ご案内申し上げます。

また、各分館においてそれぞれお祭り・スポーツ大会等、各種行事を企画し、地域コミュニケーション活動の推進に取り組んでおりますので皆さまの参加・協力をお願いいたします。

次回6月の定例会は

6月10日

開催予定です。
ぜひ、傍聴においで下さい。



編集後記

今回から、議会だよりのページ構成が変わりました。一般質問のページを前の方に持って来て、質問の数に関係なく、1議員に対して1ページを割り当てました。

このことによって、日頃、議員がどのようなことを考え、どのような質問をしているのか、少しでもわかっていただき、議会に対して興味を持っていただければと考えています。

また、編集作業についても、今まで手書きでしていましたが、パソコンを導入して、作業の効率化を図っています。

これからも、議員手づくりの広報誌という味を残しながらも、創意工夫を怠りませんので、よろしくお願ひ申し上げます。

(櫻井 靖)

議会広報発行対策特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 阿部 幸夫 |
| 副委員長 | 櫻井 靖 |
| 委員 | 赤間 幸夫 |
| | 後藤 良郎 |
| | 高橋 幸彦 |
| | 今野 章 |



編集作業中の委員

読みやすく
親しまれる
広報づくりを
めざして

議会だより126号の記事訂正
3Pの議員構成表「塩釜地区消防事務組合」と「宮城東部衛生処理組合」の所属議員が逆に記載されておりました。訂正しお詫びします。